

実は、 身近にいる。

流産・死産・新生児死など
周産期喪失を経験する
ご家族がいます。



妊娠は誰にでも起こりうること。
赤ちゃんを亡くす経験は、決して珍しいことではありません。
周囲の無理解や心ない言葉で、
深く傷ついてしまう当事者・ご家族がいます。
悲しみは見えなくても、
赤ちゃんへの大切な思いは、ずっとそこに。

妊婦の
4人に1人が
周産期喪失を経験
すると言われて
います

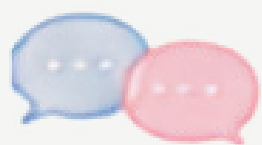
まずは、知ることから。
そして、寄り添う社会へ。

私たちにできること



知る

流産・死産・新生児死について
知ることが、支えの第一歩。



言葉に気をつける

何気ない一色が、相手を深く
傷つけてしまうことがあります。
やさしい言葉を選びましょう。



思い出を大切にする

赤ちゃんの存在を否定せず、
その子らしいお別れや
思い出を尊重しましょう。



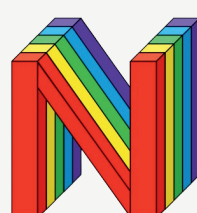
支え合う

あなたの理解やなつかりが、
悲しみを抱えるご家族の
大きな支えになります。



Pink & Blue Ribbon

赤ちゃんを亡くしたご家族への理解と支援を広げる活動です



NPO法人

ペリネイタル・ロスサポートなごみ

周産期喪失を経験したご家族に寄り添い、
支え合える社会を創る

